



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3020回 例会2024.2.22 No.1680



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE

In the WORLD

ソング 我等の生業**会長談話 山田 益会長**

今月2月6日に、日本の指揮者として世界的に有名な「小澤征爾」氏が88歳で亡くなりました。大変驚いています。心よりお悔やみ申し上げたいと思っています。何といたっても今日の松本市を「楽都松本」に、日本中に知らしめた指揮者という事です。1992年より毎年8月、9月に行われるサイトウ・キネン・フェスティバル松本（2015年より名称変更「セイジ・オザワ松本フェスティバル」です）音楽祭は、30年以上小澤征爾さんが力を入れられてきたという事です。何しろ毎年5月に発売される各会場のチケットを購入が大変で、松本市内のスポーツグラウンドに何日も前からテント村が出来ました。しかし伊那市の県民会館での発売は穴場で、私は午前4時頃から並んで7時の発売で毎年好きな演奏会の入場券を購入しました。時には何回も買えるのでお金が無くなりました。そして小澤さんとの忘れられない思い出があります。それは18年前、ピアニスト：内田光子さんの演奏会が「ザ・ハーモニーホール」で開かれた時、この時はS席だったので中央だったのですが、隣の2席が開演15分前でも誰も来ないと思っていたらなんと「小澤征爾さんと友人」がお見えになりました。そしたら小澤さんが私に「内田さんのプログラム見せて」と言われたのでお見せしました。一曲演奏の後プログラム返してくれたので私から「プログラムにサインしてください」とお願いして頂きました。良い宝となりました。



小澤さんは1959年23歳の時、スクーター、ギターと共に貨物船で単身フランスに渡り、そしてこの年「ブザンソン国際指揮者コンクール」で第1位となりヨーロッパの数多くのオーケストラを指揮し、ヘルベルト・フォン・カラヤンに師事。1960年米国ボストン郊外のパークシャー音楽祭で「クーセヴィツキー賞」を受賞。ボストン交響楽団の指揮者のシャルル・ミュンシュに師事。

1961年にはニューヨーク・フィルの副指揮者に就任、レナード・バーンスタインに師事。そして1962年私は東京で大学受験浪人中、日本フィルハーモニー交響楽団を指揮するために、シャルル・ミュンシュ氏が上野の文化会館に来ると聞きましたので会館の裏手の入口にいたら、小澤さんがミュンシュ氏を迎えに来ました。あまりにも近くに来たのでこちらはびっくりで良い思い出となりました。この時の日フィルの曲目は、ベルリオズの「幻想交響曲」で素晴らしい演奏で私の周りの人たちが「こんなに良い演奏する日フィル、初めてだ」と話していました。世界的な指揮者が指揮をすると違う音がすることが分かりました。

私は小学校、中学校の頃から家にはオルガンが有り、洋楽レコード（SP盤）が有ったり兄や姉の影響でクラシックを聴くのが好きでした。楽器は上手なくて、でも中学の音楽会は伴奏をしたことも有ります。高校時代は部活で音楽会どころではなかったのですが、東京での浪人中は、何しろ東京では演奏会がいっぱい有りましたから、楽しかったです。中でも忘れない演奏会が有ります。

それは1966年頃、千代田区日比谷公会堂で演奏会が有った「Van・クライバーン」のチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番、ベートーベンピアノ協奏曲第5番の演奏会でした。何しろ1958年米ソ冷戦の中、モスクワで開かれた第1回チャイコフスキー国際コンクールで、アメリカ人が優勝することは思っても見なかったことです。時の審査委員がソビエト連邦ニキータ・フルシチョフ首相にアメリカ人に優勝を与えて良いか聞いたところ、「彼が一番なら賞を与えよ」と答えたとの事でした。アメリカに帰国した「Van・クライバーン」は、ニューヨークをはじめ全米で大変な人気となり、各地でパレードが有りました。最近では2009年米国で開催された「Van・クライバーン国際ピアノコンクール」で、辻井伸行氏が日本人として初めて優勝しました。

誕生祝

中山一郎・荒木康雄

鈴木正比古・菅靖 世

結婚記念日祝

小坂樞男・下枝正一・唐木 章

向山賢悟・菅 靖世

在籍祝

藤澤洋二(28)・立石 誠(27)

小林旬子(10)・八木沢真(4)

委嘱状伝達 2024-25 年度地区役員・委員
諮問委員会・新クラブ結成推進委員長 中川博司
デジタル化推進副委員長 唐木 拓
職業奉仕委員 唐澤洋祐



幹事報告 別紙をご覧ください

委員会報告 「雑誌紹介」

2月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長

平和構築と紛争予防月間

RI 会長メッセージ

「好循環」を生み出す、という
タイトルで、ロータリー行動グループにアンケートを取ったところ、ロータリーの会員がより多くの親睦や連帯、対話、結束、つながりを求めていることを再認識したそうです。より多くの奉仕活動、ウェルネス啓発活動の機会を求めているようです。成果を上げる活動を通じて入会者を引き付ける方法として、クラブの帰属意識を高めること、有意義なつながりを見つけるための機会づくりを大切にすることです。そしてロータリーの会員が地域社会に積極的に参加すれば、我々の特性を地域社会は認識することになります。



会員が行うすべてのことが、お互いのつながり、メンタルヘルス向上につながります。この「好循環」を維持していきましょう。

横組み P8～ガサ地区とインターアクターの平和交流、ということで武田中学・高校 IAC のオンライン授業の様子を記載。

P10～日本で学んだアフガニスタン難民を救う、

として宮崎アカデミーRC の行動を記載。P12～広島を訪れた平和フェローの体験記があります。ICU 平和フェロー第 21 期生、カルロス・マリオ・ナバレテさんのレポート。P14～15 にも ICU で学んだ平和フェローの原爆共同体験記を記載。P16～RI 元理事の千玄室さんの「100 歳を迎えて」という記事があります。私も将来はこういう充実した人生を送りたいものだと思います。P19～END POLIO NOW の様々なクラブの取り組みを紹介。P24～元米山留学生のウガルテ・カボ・ファン・ルイスさんのボリビア紹介記事。P36～地区大会略報、我々の第 2600 地区も紹介されている。**縦組み P4**～能楽師、重要無形文化財、川村晴久さんの「能の世界 能の力で、文化の力で、世界を平和に、という記事があります。絶対的な非戦を伝えるとのことで、歴史の事柄と合わせてとても興味深い記事。P9～この人を訪ねては、燕 RC 青柳修二さんの記事。

「伊那弥生ヶ丘高校キャリア教育授業」報告
飯島松一職業・社会奉仕委員長

2月8日(木)伊那クラブからは12名が社会人講師を務め、伊那商工会議所と合同で1年生200名を対象に、キャリア・インタビューを実施しました。



高校生はこの日のために、論理的は試行や質問力、聞く力を学んでおり、講師のプロフィールを元に各ブースを訪れ、様々な質問をしていました。

出席報告 会員数 57 名 内出席免除者 19 名
出席者 23 名 事前メーキャップ1名 出席率50.00%

ニコニコボックス

・矢島 豪 KOA は、紛争や地震などの災害の人道支援する NPO の写真展をかんてんばばホールで開催致します。

ラッキー賞

唐澤洋祐・松平 歩
矢島 豪・赤羽弘之
唐木一平・山崎秀亮
登内豊明



IGM報告 ※内容は2月1日会報掲載

A班 藤澤秀敬会員 B班 唐木一平会員
C班 小河節郎会員 D班 山田 益会員

